

様式

技術名称	消波根固ブロックによる水産協調技術	技術の分類	環境	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無	
会社名等	株式会社不動テトラ	担当者	ブロック環境事業本部 柴田早苗	連絡先	03-5644-8585	
技術の概要	<p>消波根固ブロックによる水産協調技術については、従来は、海藻の着生促進を目的に、着生しやすい稜線部を形成するため、ブロック表面に溝や凹凸を施す工夫が行われてきた。</p> <p>当技術では、水理機能とのバランスを取りながら、形状そのものを海藻着生に配慮した改良型のブロックを開発し、さらに必要に応じて着生した海藻への栄養塩の供給、魚類の餌となる小型餌料生物を増殖させることが可能なブロック貼付用の付加製品を開発した。</p> <p>また改良型ブロックを用いて海岸構造物を建設した場合、従来型ブロックを使用した場合と比較して建設時に排出するCO2を抑制し、供用開始後のCO2固定量を増加させることが期待できる。</p>	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)			
		添付資料	パンフの有無	無		
			その他の資料	無		
技術の特徴	<p>1. 従来は通常のブロックの型枠に、溝や凹凸の型枠を付けることで溝付きブロックを製作していたが、最初から稜線部の多い形状とすることで、溝や凹凸の型枠を付加する必要がない。</p> <p>2. 水溶性ガラスに海藻が吸収しやすい2価の鉄イオンやリンを含ませ、これが溶出することで海藻に直接供給し、生長を促進。</p> <p>3. 小型餌料生物を増殖させる効果のある貝殻をネットに詰めた構造物をブロックに貼付すると、餌料供給量の増加のほか、仮にブロックへの大型海藻の着生が期待できない場所でも小型餌料生物による水質浄化、生物生産性の向上等が期待できる。</p> <p>4. 任意の設計条件を設定した人工リーフで試算した結果、改良型のブロックは従来型に比較して、建設時のCO2排出量は約46%減、供用後の固定量は約42%増加した。</p>	その他	<p>1. 当日はパワーポイントによる説明を予定</p> <p>2. 事前の資料配布を予定</p>			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。